

各種研修制度

関市では、限られた人的資源のもとで、新しい時代の変化に対応していくため、「目指す職員像」を掲げ、職員研修の充実、人事評価制度の活用、職場環境の整備など総合的・計画的な人材育成を進めています。

中でも職員研修については、「自己啓発」、「職場研修」、「職場外研修」、「人事交流・派遣研修」を4つの柱とした様々な研修に取り組んでいます。また、自主的な研究グループへの支援や地域活動・社会奉仕活動等を奨励するなど、各研修の特性を踏まえ総合的な能力開発を推進しています。

目指す職員像

「関市を愛し、情熱を持って職務に取り組み、
市民から信頼される職員」

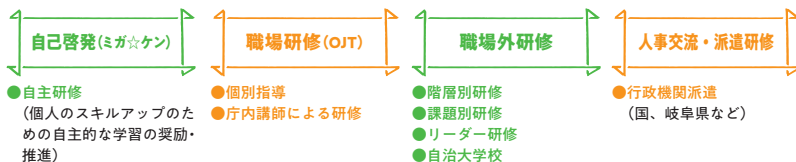
◎必要とする職員の能力

「目指す職員像」となる人材を育成するために、全職員が必要な知識(技術)を習得し、各職務の級に応じた能力を確実に身に付けることが必要となります。

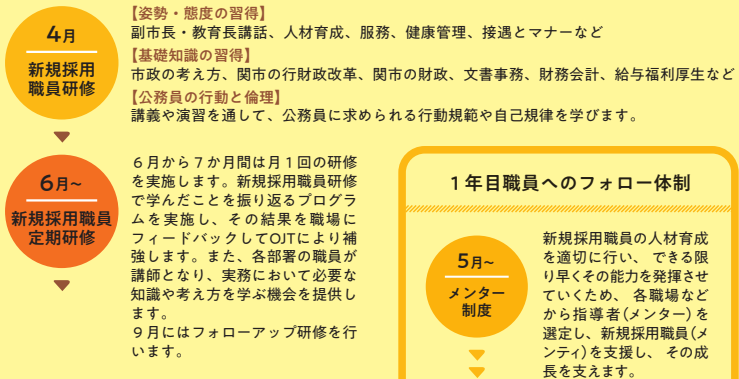
◎階層別に求められる役割

階層や職種ごとに職員に求められる役割は異なっており、それぞれの役割を担うために階層・職務の級での適切な行動が求められます。

4つの柱



新規採用職員1年目研修の流れ(令和5年度の場合)



採用2・3年目研修へ

研修事業紹介

●関市職員自主研究活動(ジシュ☆ケン)

5人以上のグループを基本とし、業務時間外に学びたいテーマについて調査・研究を行う活動。補助制度あり。

ブラッシュアップ研究会による「人間図書館」の様子。その年に退職される部長をゲストに仕事観や人生観を聴く。



“ノリ”の良い部長たちがモデルとなった広報チラシ。関市役所の人間関係の良さを感じてほしい!!

